



ソフトウェアのアップグレード

StorageGRID software

NetApp
December 03, 2025

目次

ソフトウェアのアップグレード	1
アップグレードクイックスタート	1
Linux: RPM または DEB パッケージをすべてのホストにダウンロードしてインストールします。	2
アップグレード、Linux、およびホットフィックス ファイルをダウンロードする	2
すべてのLinuxホストにアーカイブをインストールする	3
以前のバージョンのインストールアーカイブを削除します	3
アップグレードを実行する	12
StorageGRIDアップグレードページにアクセス	12
ファイルを選択	12
事前チェックを実行する	13
アップグレードを開始し、プライマリ管理ノードをアップグレードします	13
他のノードをアップグレードする	14
完全なアップグレード	16

ソフトウェアのアップグレード

アップグレードクイックスタート

アップグレードを開始する前に、一般的なワークフローを確認してください。StorageGRIDアップグレード ページでは、各アップグレード手順をガイドします。

1

Linuxホストの準備

LinuxホストにStorageGRIDノードが展開されている場合、["各ホストにRPMまたはDEBパッケージをインストールする"](#)アップグレードを開始する前に。

2

アップグレードおよび修正プログラムのファイルをアップロードする

プライマリ管理ノードから、StorageGRIDアップグレード ページにアクセスし、必要に応じてアップグレード ファイルと修正プログラム ファイルをアップロードします。

3

リカバリパッケージをダウンロード

アップグレードを開始する前に、現在のリカバリ パッケージをダウンロードしてください。

4

アップグレードの事前チェックを実行する

アップグレードの事前チェックを行うと問題を検出できるため、実際のアップグレードを開始する前に問題を解決できます。

5

アップグレードを開始

アップグレードを開始すると、事前チェックが再度実行され、プライマリ管理ノードが自動的にアップグレードされます。プライマリ管理ノードのアップグレード中は、グリッド マネージャーにアクセスできません。監査ログも利用できなくなります。このアップグレードには最大 30 分かかる場合があります。

6

リカバリパッケージをダウンロード

プライマリ管理ノードがアップグレードされたら、新しいリカバリ パッケージをダウンロードします。

7

ノードを承認する

個々のグリッド ノード、グリッド ノードのグループ、またはすべてのグリッド ノードを承認できます。



ノードを停止して再起動する準備ができていない限り、グリッド ノードのアップグレードを承認しないでください。

すべてのグリッド ノードがアップグレードされると、新しい機能が有効になり、操作を再開できます。バックグラウンドの データベースのアップグレード タスクと 最終アップグレード手順 タスクが完了するまで、廃止または拡張手順の実行を待つ必要があります。

関連情報

"[アップグレードの完了にかかる時間を見積もる](#)"

Linux: RPM または DEB パッケージをすべてのホストにダウンロードしてインストールします。

StorageGRIDノードが Linux ホストに展開されている場合は、アップグレードを開始する前に、これらの各ホストに追加の RPM または DEB パッケージをダウンロードしてインストールします。

アップグレード、Linux、およびホットフィックス ファイルをダウンロードする

Grid Manager からStorageGRIDアップグレードを実行すると、最初の手順としてアップグレード アーカイブと必要な修正プログラムをダウンロードするように求められます。ただし、Linux ホストをアップグレードするためにファイルをダウンロードする必要がある場合は、必要なファイルをすべて事前にダウンロードしておくことで時間を節約できます。

手順

1. [へ移動 "NetAppのダウンロード：StorageGRID"](#)。
2. 最新リリースをダウンロードするためのボタンを選択するか、ドロップダウン メニューから別のバージョンを選択して [Go] を選択します。

StorageGRIDソフトウェア バージョンの形式は 11.x.y です。 StorageGRIDホットフィックスの形式は 11.x.y.z です。

3. NetAppアカウントのユーザー名とパスワードでSign in。
4. 注意/必読の通知が表示された場合は、修正プログラム番号をメモして、チェックボックスをオンにします。
5. エンド ユーザー ライセンス契約 (EULA) を読み、チェックボックスをオンにして、[同意して続行] を選択します。

選択したバージョンのダウンロード ページが表示されます。このページには 3 つの列があります。

6. 2 列目 (* StorageGRIDのアップグレード *) から、次の 2 つのファイルをダウンロードします。
 - 最新リリースのアップグレード アーカイブ (これは、**VMware**、**SG1000**、または **SG100** プライマリ管理ノード というラベルの付いたセクション内のファイルです)。このファイルはアップグレードを実行するまでは必要ありませんが、今すぐダウンロードすると時間を節約できます。
 - RPMまたはDEBアーカイブは、`.tgz`または`.zip`形式。選択してください`.zip`サービス ラップトップで Windows を実行している場合は、ファイルが必要です。
 - レッドハットエンタープライズリナックス+ StorageGRID-Webscale-version-RPM-

`uniqueID.zip`
`StorageGRID-Webscale-version-RPM-uniqueID.tgz`

▪ **UbuntuまたはDebian**

`StorageGRID-Webscale-version-DEB-uniqueID.zip`
`StorageGRID-Webscale-version-DEB-uniqueID.tgz`

7. 必要な修正プログラムのために注意/必ず読む必要がある通知に同意する必要がある場合は、修正プログラムをダウンロードしてください。
 - a. 戻る "[NetAppのダウンロード：StorageGRID](#)".
 - b. ドロップダウンから修正プログラム番号を選択します。
 - c. 注意事項と EULA に再度同意します。
 - d. 修正プログラムとその README をダウンロードして保存します。

アップグレードを開始すると、StorageGRIDアップグレード ページで修正プログラム ファイルをアップロードするように求められます。

すべてのLinuxホストにアーカイブをインストールする

StorageGRIDソフトウェアをアップグレードする前に、次の手順を実行してください。

手順

1. インストール ファイルから RPM または DEB パッケージを抽出します。
2. すべての Linux ホストに RPM または DEB パッケージをインストールします。

インストール手順でStorageGRIDホスト サービスをインストールする手順を参照してください。

- "[Red Hat Enterprise Linux: StorageGRIDホストサービスをインストールする](#)"
- "[UbuntuまたはDebian: StorageGRIDホストサービスをインストールする](#)"

新しいパッケージは追加パッケージとしてインストールされます。

以前のバージョンのインストールアーカイブを削除します

Linux ホストのスペースを解放するには、不要になった以前のバージョンのStorageGRIDのインストール アーカイブを削除できます。

手順

1. 古いStorageGRIDインストール アーカイブを削除します。

Red Hat

1. インストールされているStorageGRIDパッケージのリストをキャプチャします。 `dnf list | grep -i storagegrid`。

例：

```
[root@rhel-example ~]# dnf list | grep -i storagegrid
StorageGRID-Webscale-Images-11-6-0.x86_64 11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe @System
StorageGRID-Webscale-Images-11-7-0.x86_64 11.7.0-
20230424.2238.1a2cf8c @System
StorageGRID-Webscale-Images-11-8-0.x86_64 11.8.0-
20240131.0139.e3e0c87 @System
StorageGRID-Webscale-Images-11-9-0.x86_64 11.9.0-
20240826.1753.4aeeb70 @System
StorageGRID-Webscale-Service-11-6-0.x86_64 11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe @System
StorageGRID-Webscale-Service-11-7-0.x86_64 11.7.0-
20230424.2238.1a2cf8c @System
StorageGRID-Webscale-Service-11-8-0.x86_64 11.8.0-
20240131.0139.e3e0c87 @System
StorageGRID-Webscale-Service-11-9-0.x86_64 11.9.0-
20240826.1753.4aeeb70 @System
[root@rhel-example ~]#
```

2. 以前のStorageGRIDパッケージを削除します。 `dnf remove images-package service-package`



現在実行中のStorageGRIDのバージョン、またはアップグレードする予定のStorageGRIDのバージョンのインストール アーカイブを削除しないでください。

表示される警告は無視しても問題ありません。これらは、新しいStorageGRIDパッケージをインストールしたときに置き換えられたファイルを参照します。

例：

```
[root@rhel-example ~]# dnf remove StorageGRID-Webscale-Images-11-6-
0.x86_64 StorageGRID-Webscale-Service-11-6-0.x86_64
Updating Subscription Management repositories.
Unable to read consumer identity

This system is not registered with an entitlement server. You can
use subscription-manager to register.

Dependencies resolved.
```

```

=====
=====
Package           Architecture      Version           Repository
Size
=====
=====
Removing:
StorageGRID-Webscale-Images-11-6-0 x86_64 11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe @System 2.7 G
StorageGRID-Webscale-Service-11-6-0 x86_64 11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe @System 7.5 M

Transaction Summary
=====
=====
Remove 2 Packages

Freed space: 2.8 G
Is this ok [y/N]: y
Running transaction check
Transaction check succeeded.
Running transaction test
Transaction test succeeded.
Running transaction
  Preparing: 1/1
  Running scriptlet: StorageGRID-Webscale-Service-11-6-0-11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe.x86_64 1/2
  Erasing: StorageGRID-Webscale-Service-11-6-0-11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe.x86_64 1/2
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/strategy/ipv6.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/strategy/ipv4.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/strategy/eui64.pyc
: remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/strategy/eui48.pyc
: remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/strategy/__init__
.pyc: remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/ip/sets.pyc:

```

```
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/ip/rfc1924.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/ip/nmap.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/ip/iana.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/ip/glob.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/ip/__init__.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/fbsocket.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/eui/ieee.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/eui/__init__.pyc:
remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/core.pyc: remove
failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/contrib/subnet_spl
itter.pyc: remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/contrib/__init__.p
yc: remove failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/compat.pyc: remove
failed: No such file or directory
warning: file /usr/lib64/python2.7/site-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest/netaddr/__init__.pyc:
remove failed: No such file or directory
```

```
Erasing: StorageGRID-Webscale-Images-11-6-0-11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe.x86_64 2/2
```

```
Verifying: StorageGRID-Webscale-Images-11-6-0-11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe.x86_64 1/2
```

```
Verifying: StorageGRID-Webscale-Service-11-6-0-11.6.0-
```

```
20220210.0232.8d56cfe.x86_64 2/2
```

```
Installed products updated.
```

```
Removed:
```

```
StorageGRID-Webscale-Images-11-6-0-11.6.0-  
20220210.0232.8d56cfe.x86_64  
StorageGRID-Webscale-Service-11-6-0-11.6.0-  
20220210.0232.8d56cfe.x86_64
```

```
Complete!
```

```
[root@rhel-example ~]#
```

UbuntuとDebian

1. インストールされているStorageGRIDパッケージのリストをキャプチャします。 `dpkg -l | grep storagegrid`

例：

```
root@debian-example:~# dpkg -l | grep storagegrid  
ii storagegrid-webscale-images-11-6-0 11.6.0-20220210.0232.8d56cfe  
amd64 StorageGRID Webscale docker images for 11.6.0  
ii storagegrid-webscale-images-11-7-0 11.7.0-  
20230424.2238.1a2cf8c.dev-signed amd64 StorageGRID Webscale docker  
images for 11.7.0  
ii storagegrid-webscale-images-11-8-0 11.8.0-20240131.0139.e3e0c87  
amd64 StorageGRID Webscale docker images for 11.8.0  
ii storagegrid-webscale-images-11-9-0 11.9.0-20240826.1753.4aeeb70  
amd64 StorageGRID Webscale docker images for 11.9.0  
ii storagegrid-webscale-service-11-6-0 11.6.0-20220210.0232.8d56cfe  
amd64 StorageGRID Webscale host services for 11.6.0  
ii storagegrid-webscale-service-11-7-0 11.7.0-20230424.2238.1a2cf8c  
amd64 StorageGRID Webscale host services for 11.7.0  
ii storagegrid-webscale-service-11-8-0 11.8.0-20240131.0139.e3e0c87  
amd64 StorageGRID Webscale host services for 11.8.0  
ii storagegrid-webscale-service-11-9-0 11.9.0-20240826.1753.4aeeb70  
amd64 StorageGRID Webscale host services for 11.9.0  
root@debian-example:~#
```

2. 以前のStorageGRIDパッケージを削除します。 `dpkg -r images-package service-package`



現在実行中のStorageGRIDのバージョン、またはアップグレードする予定のStorageGRIDのバージョンのインストール アーカイブを削除しないでください。

例：

```
root@debian-example:~# dpkg -r storagegrid-webscale-service-11-6-0
storagegrid-webscale-images-11-6-0
(Reading database ... 38190 files and directories currently
installed.)
Removing storagegrid-webscale-service-11-6-0 (11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe) ...
locale: Cannot set LC_CTYPE to default locale: No such file or
directory
locale: Cannot set LC_MESSAGES to default locale: No such file or
directory
locale: Cannot set LC_ALL to default locale: No such file or
directory
dpkg: warning: while removing storagegrid-webscale-service-11-6-0,
directory '/usr/lib/python2.7/dist-
packages/netapp/storagegrid/vendor/latest' not empty so not removed
Removing storagegrid-webscale-images-11-6-0 (11.6.0-
20220210.0232.8d56cfe) ...
root@debian-example:~#
```

1. StorageGRIDコンテナ イメージを削除します。

Docker

1. インストールされているコンテナ イメージのリストをキャプチャします。 `docker images`

例：

```
[root@docker-example ~]# docker images
REPOSITORY          TAG                IMAGE ID           CREATED
SIZE
storagegrid-11.9.0  Admin_Node        610f2595bcb4     2 days ago
2.77GB
storagegrid-11.9.0  Storage_Node      7f73d33eb880     2 days ago
2.65GB
storagegrid-11.9.0  API_Gateway       2f0bb79526e9     2 days ago
1.82GB
storagegrid-11.8.0  Storage_Node      7125480de71b     7 months ago
2.54GB
storagegrid-11.8.0  Admin_Node        404e9f1bd173     7 months ago
2.63GB
storagegrid-11.8.0  Archive_Node      c3294a29697c     7 months ago
2.39GB
storagegrid-11.8.0  API_Gateway       1f88f24b9098     7 months ago
1.74GB
storagegrid-11.7.0  Storage_Node      1655350eff6f     16 months ago
2.51GB
storagegrid-11.7.0  Admin_Node        872258dd0dc8     16 months ago
2.48GB
storagegrid-11.7.0  Archive_Node      121e7c8b6d3b     16 months ago
2.41GB
storagegrid-11.7.0  API_Gateway       5b7a26e382de     16 months ago
1.77GB
storagegrid-11.6.0  Admin_Node        ee39f71a73e1     2 years ago
2.38GB
storagegrid-11.6.0  Storage_Node      f5ef895dcad0     2 years ago
2.08GB
storagegrid-11.6.0  Archive_Node      5782de552db0     2 years ago
1.95GB
storagegrid-11.6.0  API_Gateway       cb480ed37eea     2 years ago
1.35GB
[root@docker-example ~]#
```

2. 以前のStorageGRIDバージョンのコンテナ イメージを削除します。 `docker rmi image id`



現在実行中のStorageGRIDのバージョン、またはアップグレードする予定のStorageGRIDのバージョンのコンテナ イメージを削除しないでください。

例：

```
[root@docker-example ~]# docker rmi cb480ed37eea
Untagged: storagegrid-11.6.0:API_Gateway
Deleted:
sha256:cb480ed37eea0ae9cf3522de1dadfbff0075010d89c1c0a2337a3178051ddf02
Deleted:
sha256:5f269aabf15c32c1fe6f36329c304b6c6ecb563d973794b9b59e8e5ab8ccafa
Deleted:
sha256:47c2b2c295a77b312b8db69db58a02d8e09e929e121352bec713fa12dae66bde
[root@docker-example ~]#
```

ポッドマン

1. インストールされているコンテナ イメージのリストをキャプチャします。 `podman images`

例：

```
[root@podman-example ~]# podman images
REPOSITORY          TAG          IMAGE ID      CREATED
SIZE
localhost/storagegrid-11.8.0  Storage_Node  7125480de71b  7 months
ago  2.57 GB
localhost/storagegrid-11.8.0  Admin_Node   404e9f1bd173  7 months
ago  2.67 GB
localhost/storagegrid-11.8.0  Archive_Node  c3294a29697c  7 months
ago  2.42 GB
localhost/storagegrid-11.8.0  API_Gateway  1f88f24b9098  7 months
ago  1.77 GB
localhost/storagegrid-11.7.0  Storage_Node  1655350eff6f  16 months
ago  2.54 GB
localhost/storagegrid-11.7.0  Admin_Node   872258dd0dc8  16 months
ago  2.51 GB
localhost/storagegrid-11.7.0  Archive_Node  121e7c8b6d3b  16 months
ago  2.44 GB
localhost/storagegrid-11.7.0  API_Gateway  5b7a26e382de  16 months
ago  1.8 GB
localhost/storagegrid-11.6.0  Admin_Node   ee39f71a73e1  2 years
ago  2.42 GB
localhost/storagegrid-11.6.0  Storage_Node  f5ef895dcad0  2 years
ago  2.11 GB
localhost/storagegrid-11.6.0  Archive_Node  5782de552db0  2 years
ago  1.98 GB
localhost/storagegrid-11.6.0  API_Gateway  cb480ed37eea  2 years
ago  1.38 GB
[root@podman-example ~]#
```

2. 以前のStorageGRIDバージョンのコンテナ イメージを削除します。 `podman rmi image id`



現在実行中のStorageGRIDのバージョン、またはアップグレードする予定のStorageGRIDのバージョンのコンテナ イメージを削除しないでください。

例：

```
[root@podman-example ~]# podman rmi f5ef895dcad0
Untagged: localhost/storagegrid-11.6.0:Storage_Node
Deleted:
f5ef895dcad0d78d0fd21a07dd132d7c7f65f45d80ee7205a4d615494e44cbb7
[root@podman-example ~]#
```

アップグレードを実行する

StorageGRID 11.9 にアップグレードし、同時にそのリリースの最新の修正プログラムを適用できます。StorageGRIDアップグレード ページには、推奨されるアップグレード パスと、適切なダウンロード ページへの直接リンクが記載されています。

開始する前に

すべての考慮事項を確認し、計画と準備の手順をすべて完了しました。

StorageGRIDアップグレードページにアクセス

最初のステップとして、Grid Manager のStorageGRIDアップグレード ページにアクセスします。

手順

1. グリッドマネージャーにSign inには、"[サポートされているウェブブラウザ](#)"。
2. メンテナンス > システム > *ソフトウェアアップデート*を選択します。
3. StorageGRIDアップグレード タイルから、[アップグレード] を選択します。

ファイルを選択

StorageGRIDアップグレード ページの更新パスには、最新のStorageGRIDリリースを取得するためにインストールする必要があるメジャー バージョン (例: 11.9.0) とホットフィックス (例: 11.9.0.1) が示されています。推奨バージョンと修正プログラムは、表示されている順序でインストールする必要があります。



更新パスが表示されない場合は、ブラウザがNetAppサポート サイトにアクセスできないか、AutoSupportページ (*[サポート] > [ツール] > [AutoSupport] > [設定]) の [ソフトウェア更新の確認] チェックボックスが無効になっている可能性があります。

手順

1. *ファイルの選択*手順で、更新パスを確認します。
2. 「ファイルのダウンロード」セクションで、各 ダウンロード リンクを選択し、NetAppサポート サイトから必要なファイルをダウンロードします。

アップデートパスが表示されない場合は、"[NetAppのダウンロード：StorageGRID](#)"新しいバージョンまたは修正プログラムが利用可能かどうかを確認し、必要なファイルをダウンロードします。



すべての Linux ホストに RPM または DEB パッケージをダウンロードしてインストールする必要がある場合は、更新パスにStorageGRID のアップグレード ファイルと修正プログラム ファイルがすでにリストされている可能性があります。

3. *参照*を選択して、バージョンアップグレードファイルをStorageGRIDにアップロードします。
`NetApp_StorageGRID_11.9.0_Software_uniqueID.upgrade`

アップロードと検証のプロセスが完了すると、ファイル名の横に緑色のチェックマークが表示されます。

4. 修正プログラム ファイルをダウンロードした場合は、[参照] を選択してそのファイルをアップロードします。修正プログラムはバージョンアップグレードの一環として自動的に適用されます。

5. *続行*を選択します。

事前チェックを実行する

事前チェックを実行すると、グリッドのアップグレードを開始する前に、アップグレードの問題を検出して解決できます。

手順

1. *事前チェックの実行*手順では、まずグリッドのプロビジョニング パスフレーズを入力します。
2. *リカバリ パッケージのダウンロード*を選択します。

プライマリ管理ノードをアップグレードする前に、リカバリ パッケージ ファイルの現在のコピーをダウンロードする必要があります。リカバリ パッケージ ファイルを使用すると、障害が発生した場合にシステムを復元できます。

3. ファイルをダウンロードしたら、以下の内容にアクセスできることを確認してください。`Passwords.txt` ファイル。
4. ダウンロードしたファイルをコピーする(.zip) を 2 つの安全でセキュリティ保護された別の場所に保管します。



リカバリ パッケージ ファイルには、StorageGRIDシステムからデータを取得するために使用できる暗号化キーとパスワードが含まれているため、セキュリティ保護する必要があります。

5. *事前チェックを実行*を選択し、事前チェックが完了するまで待ちます。
6. 報告された各事前チェックの詳細を確認し、報告されたエラーを解決します。参照 ["StorageGRIDソフトウェア アップグレード解決ガイド"StorageGRID 11.9 リリース用](#)。

システムをアップグレードする前に、すべての事前チェック エラーを解決する必要があります。ただし、アップグレード前に事前チェックの警告に対処する必要はありません。



カスタム ファイアウォール ポートを開いている場合は、事前チェック検証中に通知されます。アップグレードを続行する前に、テクニカル サポートに連絡する必要があります。

7. 報告された問題を解決するために構成を変更した場合は、*事前チェックを実行*を再度選択して更新された結果を取得します。

すべてのエラーが解決された場合は、アップグレードを開始するように求められます。

アップグレードを開始し、プライマリ管理ノードをアップグレードします

アップグレードを開始すると、アップグレードの事前チェックが再度実行され、プライマリ管理ノードが自動的にアップグレードされます。アップグレードのこの部分には最大 30 分かかる場合があります。



プライマリ管理ノードのアップグレード中は、他の Grid Manager ページにアクセスすることはできません。監査ログも利用できなくなります。

手順

1. *アップグレードを開始*を選択します。

一時的にグリッド マネージャーにアクセスできなくなることを知らせる警告が表示されます。

2. 警告を確認してアップグレードを開始するには、[OK] を選択します。

3. アップグレードの事前チェックが実行され、プライマリ管理ノードがアップグレードされるまで待機します。



事前チェックエラーが報告された場合は、それを解決して再度「アップグレードの開始」を選択してください。

グリッドにオンラインで準備完了状態の別の管理ノードがある場合は、それを使用してプライマリ管理ノードのステータスを監視できます。プライマリ管理ノードがアップグレードされるとすぐに、他のグリッドノードを承認できます。

4. 必要に応じて、[続行] を選択して、[他のノードのアップグレード] ステップにアクセスします。

他のノードをアップグレードする

すべてのグリッド ノードをアップグレードする必要がありますが、複数のアップグレード セッションを実行し、アップグレード シーケンスをカスタマイズできます。たとえば、1回のセッションでサイト A のノードをアップグレードし、その後のセッションでサイト B のノードをアップグレードする場合があります。アップグレードを複数のセッションで実行することを選択した場合は、すべてのノードがアップグレードされるまで新しい機能の使用を開始できないことに注意してください。

ノードのアップグレード順序が重要な場合は、ノードまたはノード グループを 1 つずつ承認し、各ノードのアップグレードが完了するまで待ってから、次のノードまたはノード グループを承認します。



グリッド ノードでアップグレードが開始されると、そのノード上のサービスは停止されます。その後、グリッド ノードが再起動されます。ノードと通信しているクライアント アプリケーションのサービスが中断されないようにするには、ノードを停止して再起動する準備ができていない限り、ノードのアップグレードを承認しないでください。必要に応じて、メンテナンス期間をスケジュールするか、顧客に通知します。

手順

1. 他のノードのアップグレード ステップでは、アップグレード全体の開始時刻と各主要なアップグレードタスクのステータスを示す概要を確認します。

- アップグレード サービスの開始 が最初のアップグレード タスクです。このタスク中に、ソフトウェア ファイルがグリッド ノードに配布され、各ノードでアップグレード サービスが開始されます。
- アップグレード サービスの開始 タスクが完了すると、他のグリッド ノードのアップグレード タスクが開始され、リカバリ パッケージの新しいコピーをダウンロードするように求められます。

2. プロンプトが表示されたら、プロビジョニング パスフレーズを入力し、リカバリ パッケージの新しいコピーをダウンロードします。



プライマリ管理ノードがアップグレードされた後、リカバリ パッケージ ファイルの新しいコピーをダウンロードする必要があります。リカバリ パッケージ ファイルを使用すると、障害が発生した場合にシステムを復元できます。

3. 各タイプのノードのステータス テーブルを確認します。非プライマリ管理ノード、ゲートウェイノード、

およびストレージノードのテーブルがあります。

テーブルが最初に表示されるとき、グリッド ノードは次のいずれかの段階にあります。

- アップグレードの開梱
- ダウンロード中
- 承認待ち

4. アップグレードするグリッド ノードを選択する準備ができたなら (または選択したノードを承認解除する必要がある場合は)、次の手順に従います。

Task	命令
特定のサイトのすべてのノードなど、承認する特定のノードを検索します	*検索*フィールドに検索文字列を入力します
アップグレードするすべてのノードを選択	*すべてのノードを承認*を選択します
アップグレード対象として同じタイプのすべてのノードを選択します (たとえば、すべてのストレージノード)。	ノードタイプの「すべて承認」ボタンを選択します 同じタイプのノードを複数承認すると、ノードは一度に1つずつアップグレードされます。
アップグレードする個々のノードを選択する	ノードの「承認」ボタンを選択します
選択したすべてのノードのアップグレードを延期する	*すべてのノードを承認しない*を選択
同じタイプの選択されたすべてのノードのアップグレードを延期します	ノードタイプの*すべて承認解除*ボタンを選択します
個々のノードのアップグレードを延期する	ノードの*非承認*ボタンを選択します

5. 承認されたノードが次のアップグレード段階を進むのを待ちます。

- 承認され、アップグレードを待機中
- サービスを停止しています



ステージが「サービスの停止」に達した場合、ノードを削除することはできません。 *非承認*ボタンは無効です。

- コンテナを停止しています
- Dockerイメージのクリーンアップ
- ベースOSパッケージのアップグレード



アプライアンス ノードがこの段階に達すると、アプライアンス上のStorageGRID Appliance Installer ソフトウェアが更新されます。この自動化されたプロセスにより、StorageGRIDアプライアンス インストーラのバージョンがStorageGRIDソフトウェアのバージョンと同期された状態を維持します。

- リポートしています



一部のアプライアンス モデルでは、ファームウェアと BIOS をアップグレードするために複数回再起動する場合があります。

- 再起動後の手順の実行
- サービスの開始
- 完了

6. 繰り返します承認ステップすべてのグリッド ノードがアップグレードされるまで、必要な回数だけ実行できます。

完全なアップグレード

すべてのグリッド ノードがアップグレード ステージを完了すると、他のグリッド ノードのアップグレード タスクが完了として表示されます。残りのアップグレード タスクはバックグラウンドで自動的に実行されません。

手順

1. *機能の有効化*タスクが完了すると（すぐに完了します）、**"新機能"**アップグレードされたStorageGRID バージョンで。
2. データベースのアップグレード タスク中に、アップグレード プロセスは各ノードをチェックし、Cassandra データベースを更新する必要がないことを確認します。



StorageGRID 11.8 から 11.9 へのアップグレードでは Cassandra データベースのアップグレードは必要ありませんが、各ストレージ ノードで Cassandra サービスが停止され、再起動されます。今後のStorageGRID機能リリースでは、Cassandra データベースの更新手順が完了するまでに数日かかる可能性があります。

3. データベースのアップグレード タスクが完了したら、最終アップグレード手順 が完了するまで数分間待ちます。
4. *最終アップグレード手順*が完了すると、アップグレードは完了です。最初のステップである「ファイルを選択」が緑色の成功バナーとともに再表示されます。
5. グリッド操作が正常に戻ったことを確認します。
 - a. サービスが正常に動作していること、および予期しないアラートがないことを確認します。
 - b. StorageGRIDシステムへのクライアント接続が期待どおりに動作していることを確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。